

# 事務局からのお知らせ

2017年10月6日 CHAdeMO協議会 事務局長 吉田 誠

## 目次



- 1. 活動ご報告
  - 現状報告
  - 仕様書1.2検定受付開始
  - 北米でのCHAdeMO認証開始

#### 2. 今後の方向性





# 活動ご報告

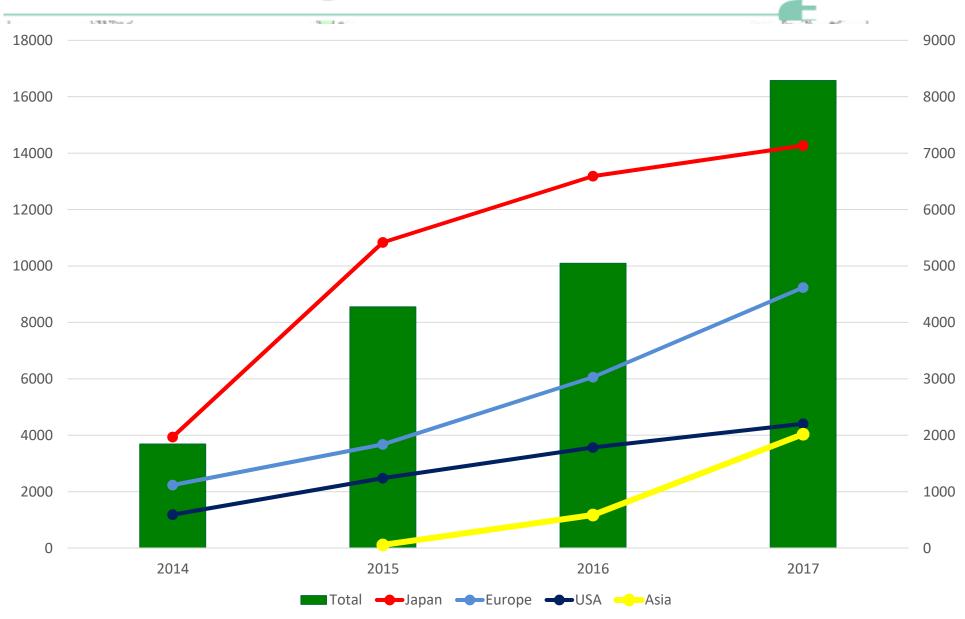


# 現状報告

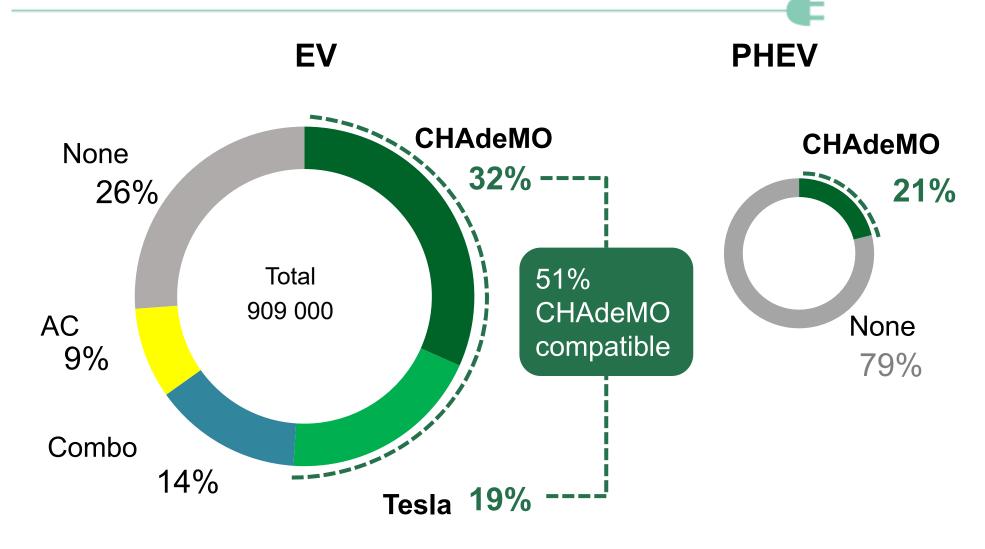
# 世界の電動化動向

	玉	政策
政府	イギリス	2040年までに内燃機関車全廃
	フランス	2040年までに内燃機関車全廃
	オランダ	内燃機関車全廃の時期を検討中 2025年以降
	ノルウェー	内燃機関車全廃を決定 時期は検討中
	ドイツ	ICE全廃を議会採択
	中国	NEV規制; 2018年 8%, 2019年 10%, 2020年 12% 内燃機関全廃の時期を検討中
	インド	2032年内燃機関全廃
	マレーシア	2020年 EV10万台 2030年全車 x EV化
	タイ	2036年 EV120万台
	ベトナム/フィリピン/インドネシア	EV普及政策を検討中 (17年中に発表)
地 方	米 加州	ZEV規制(ZEV販売要求 HVは認めず) VW罰金20億ドルを充電インフラに投資
	加 ケベック州	2018年ZEV規制開始(加州に準ずる)

# CHAdeMO充電器数



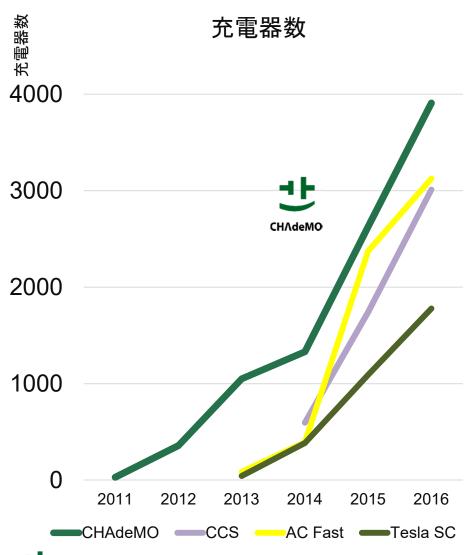
### 世界のEV台数 対応規格比較 (除中国)

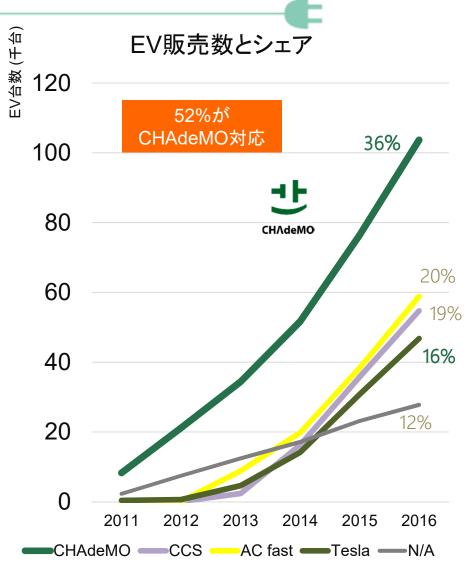




Source: IHS Automotive; 乗用車のみ

## 充電器数とEV数 (欧州 2016年末)







#### 会員 入退会 動向

#### (2017.10.6 現在)

会員総数: 357団体 (+7)

幹事会員: 8社

正会員(国内): 65社 (+2)

(海外): 79社 (+3)

賛助会員(国):99社

(海外): 30社 (-1)

特別会員: 76団体 (+3) (対6月)



2017年総会時(2017年6月) 2016年 2015年 2014年 ■総計 → 国内 正 → 海外 正

会員総数: 350 330 325 360

幹事会員: 8 8 9 8

正会員(国内): 63 56 62 67

(海外): 76 63 58 74

賛助会員(国): 99 98 100 120

(海外): 31 29 25 22

特別会員: 72 76 71 69



# 仕様書1.2検定受付開始

### 仕様書1.2検定の受付開始



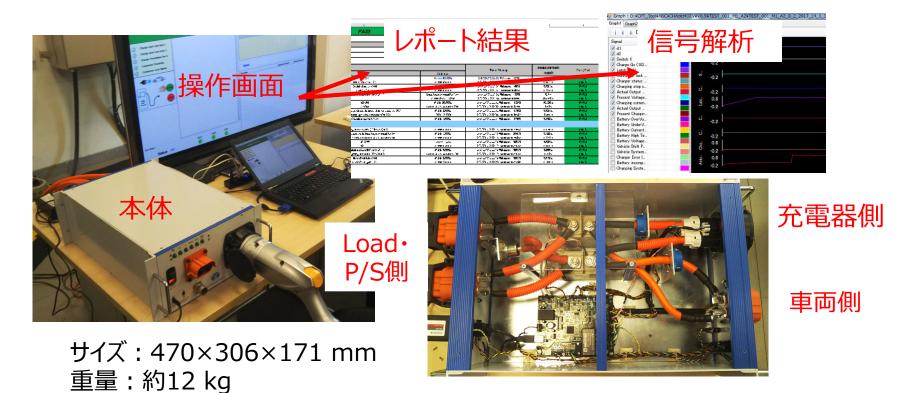
- 2017年9月より仕様書1.2の検定受付開始
  - 最大電流 400Aに拡張
  - ケーブルの過温度対策を規定
  - 地絡検出器の自己診断機能を規定 = 安全性の向上
- 仕様書1.1の検定は2018年3月で終了



### 検定器販売開始



- 仕様書1.2対応
- V2X、2.0への拡張も検討中(ソフトアップグレードのみ)
- 開発支援ツールとしても適用可能







# IEEE認証制度の立ち上げ

(参加企業募集)

#### 北米IEEEにおける認証制度作成ステコミ



•IEEE2030.1.1(CHAdeMO規格) ⇒ 改訂作業開始

• それに対応した認証制度の立ち上げ

ステアリングコミッティを10月20日開催

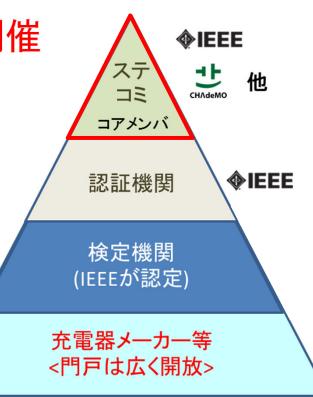
・自動車メーカ、充電器メーカ、ラボ チャデモ協議会、事務局が参加

・広い業種からの参加募集中

#### Contact;

IEEE USA; Ravi Subramaniam

e-mail; r.subramaniam@ieee.org







# 今後の方向性(案)

やりたい人の やりたいことを やりたいように

# コアプロトコルを決めて拡張

- 安全性、互換性
- 技術発展、機能拡張
- 地域最適化、車種拡大 →拡張性向上
- →コアプロトコルで保証
- →機能的向上

市場性 互換性 雷力グリッドへの影響 安全性

技術発展 高出力、V2X、スマート充電 等

拡張

車種拡大

**CHAdeMO** 

コアプロトコル

地域最適化











オリジナル **CHAdeMO** 



















#### Glocal -オープンプラットフォーム戦略-



#### 目標

- 設計、生産、認証、販売、設置、仕様、修理 全て現地 (Local)
- CHAdeMO 互換性、親和性向上で輸出も容易に (Global)
- 常に技術面で時代をリード(半歩でも一歩でも)

#### 方策

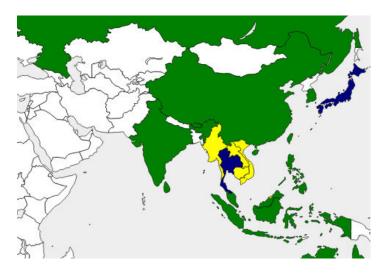
- 現地認証制度の立ち上げ (現地へ権限移譲)
- 現地企業との共同事業
- 現地規格への柔軟な対応
- CHAdeMO コアプロトコルの遵守
- トータルシステムを売り込み、個別知財、技術情報は開示
- 技術サポート (Helpデスク,教育、講演、CHAdeMO 現地事務所開設)



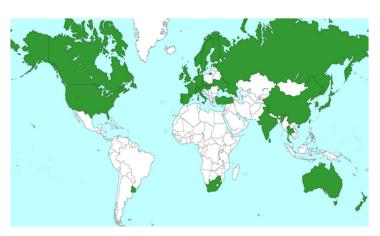
## 現在チャデモで交渉中の国々の現状

Œ

- ■検討/交渉中案件
  - チャデモ採用検討国;タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピンインドネシア、サウジアラビア



チャデモコア採用国、検討国;
アメリカ (IEEEとWロゴ)
中国 (GBTとの親和性向上)
ロシア (独自規格検討中)
インド (独自規格検討中)





## 適用車種拡大例

Œ

■ コネクタ形状は異なるが、プロトコル、通信などの共通性を持った規格へ









レースカー



バス



トラック



非接触充電 (通信のみ)



車両側の検定 (国単位で要請があれば)



船舶



作業車

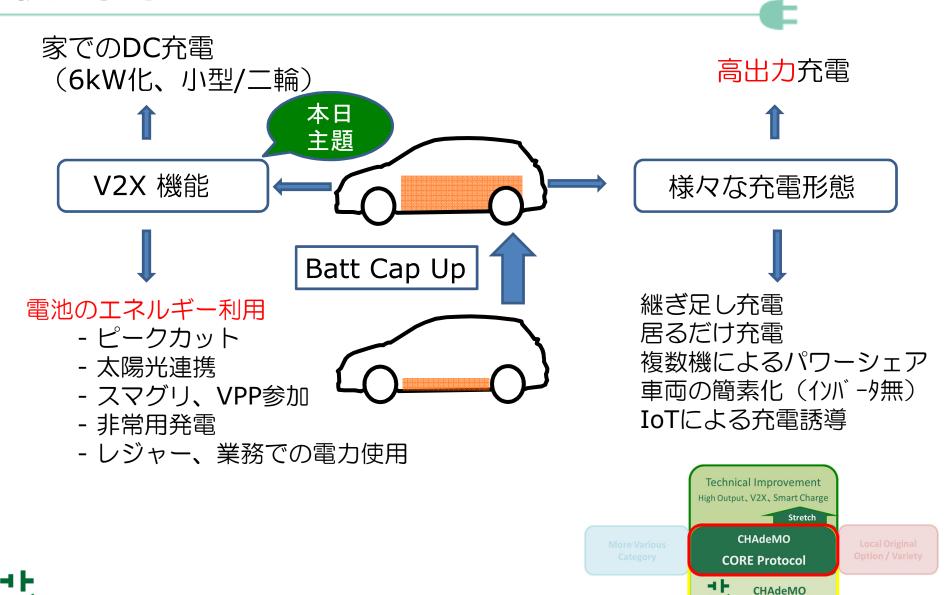


CHAdeMO Global Original

20

# 機能拡張 -車両の進歩に併せて

**CH**\(\text{deMO}\)



## 各種充電の応用

# ■高出力

- バス/トラックは350kW級(高電圧化1kV、大電流400A)
- 電力集中、高電圧を考えるとパンタグラフ等 別アウトレットも
- 基地局での集中充電
- 乗用車は 150-200kW

#### ■低出力

- 二輪、超小型車、アジア三輪
- DC化による車体の省エネ化
- 低価格充電器の網羅的配置







■ 既存50kWの資産活用も含め 統合効率的な配置

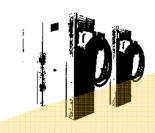


# 高出力充電ロードマップ









100/150-200kW 150-200kW (定格/最大) (定格)



125Ax500V

350Ax500V (400Ax500V)



350-400A x 1kV

強制冷却機能 (液冷)

ダイナミックコントロール

2016

2018

2020



- ・車両側電池の受容性との同時開発が必要
- ・挿抜アシスト、ケーブル/ガンの重量対策など市場性施策も必要

### 低出力機のメリット

Œ

- コアプロトコル対応20kW機
  - 機器コスト、設置コストが少ない
  - 電気代等運営コストも少ない
  - 滞在時間が長くなる(モール、販売拠点等)
  - DC充電であり車載充電器(AC⇒DC)不要











- 例 日本全国道の駅
  - 1117箇所中、258か所にDC充電器を設置



20kWが226基、25kW 6基, 30kW 24基

# 今後の方策(まとめ)



- ■地域的拡大
- ■適用範囲拡大
- 機能的発展拡大 に加えて
  - 標準化活動(将来の規格統一、PnC関連規格の整合)
  - 金銭的補助の獲得(補助金、税制優遇)
  - 非金銭補助の獲得(ナンバー、高速レーン、駐車場他)
  - ビジネスモデル構築への貢献(充電課金、アケ・リケ・ーション、メンテナンス、位置情報提供、誘導)
  - 認知度向上、不安払拭(正しい情報提供)





# ありがとうございました